

エクストリームシリーズ2009 那珂川大会

那珂川大会優勝チームコメント

KIWAMI 黒岩 丈司 さん

KIWAMIの2009シーズン初戦はみきてい・なま・ゴリの3人組での参加となりました。

レースに臨むに当たり、なま・ゴリの2人は練習不足、みきていは寝不足というコンディションの中、レース前に3人で今回の那珂川大会は結果にとらわれることなく、レース中は常に笑顔を決して最後まで楽しもうということになりました。

そのかいもあり、満開の桜やチェックポイントでのかき氷や手打ちそばをじっくり堪能することができましたし、チームチャレンジのグランドゴルフでは3打で入れなければいけないところでホールインワンが出るなど予想以上に盛り上がりすぎてしまいました。結果的に優勝することができましたが、レースを通じて終始チームワーク良く、楽しいレースを進めることができました。

最後になりましたが今回楽しいレースを主催・開催していただいた関係者の方々、朝早い時間帯から参加者を温かくサポートしてくれた那須烏山市のボランティアの方々から感謝いたします。この場にてお礼を申し上げます。

那珂川大会参加チームコメント

ロッジとゆかいな仲間たち 森本 深青子 さん

結果：総合6位 オープン5位

男性チームが多い中女性3人で上位に食い込む事ができた。
正直、完走できると思わなかったので入賞できたのが嬉しかった。

メンバーは福島在住のスキーヤーのひろみさんと、元陸上部で走るのが得意なみささん。そして、アドベンチャーレースは慣れている私の3人。

「素人でも出られる大会なら出たい」というひろみさんの一言でチームを結成。
一日完結型で手軽に参加する事が出来るエクストリームシリーズ那珂川大会に、即エントリーとなった。チームのコンセプトは「楽しくゆっくり行きましょう」だが、ただものではない女性メンバー（実際ただものではないのです）だけに、レース展開が見えず、レース前からワクワクしていた。

スタート直後はご当地クイズの問題集め。団子状態でまったりと進む。

問題を集めた後は、山あげ会館でのクイズ回答。山あげ祭はいつ始まったか？烏山城の初代主は？が答えられず苦戦。CP1を22位でスタート。

CP2手前の倒木渋滞にはまりツーリング気分でのんびりと進む。途中咲いている、ピンク色の桃の花や、黄色の花が美しい。花粉もたんまりと吸い込み春を満喫。

そのままMTBでCP5～CP7を周ってCP8に戻ると順位が10位前後。

もたもたしていた印象だけに、俄然元気が出る。

カヤックが終わった時点で、CP11の脚きり時間まで残り2時間。「CP9からCP10までの地図読みが順調にいけば、完走できる」と、水と食べ物を補給して出発。

途中、みささんの股関節が痛くなってしまい、ひろみさんが「バックカントリーの時の荷物の重さに比べたら」と二人分の荷物を背負う。

いや～カッコ良すぎです。

地図読みは私。コンパス直進で180度逆にセットして「あれ？」と言っている所をみささんに助けてもらう。

地図読みセクションも無事通過。それぞれの得意不得意を3人で補いながら、CP11に時間内に到着。

地元の方が作ってくださったお蕎麦と、かき氷をいただいて、一息ついてから再スタート。

あとは、迷う事もないだろうと思っていたら、CP12に向かう途中、地図中に記載されていた点線を進もうとして強烈な藪に阻まれ戻る羽目に。

尾根に上がる手前でトレトレウィルスwith重力まにあさんと遭遇。それまで、何回か会っているのだが、私達が先に行き迷って落ちてくると読んでいたとのこと。

CP13手前の鞍部で山中に入ることになり順位をあげてきた、ワイルドワイフさんに遭遇。ゴルフ場の西側の山を抜けると、急に視界が切れて市街まで見渡せるビューポイントに到着。北側の山の斜面に「ぼっ」と咲く山桜がとてもきれいで、なんて自然豊かな

里山なのだろうと感激。

CP14 へのルート選びでゴールまでの差が付いた。

私達はトレトレウィルスwith重力まにあさんの後を追ひ、CP14に道が続いているであろう谷に下りた。その谷は倒木や石でがれていて、思うように走れなかった。ワイルドワイフさんはトレイルがしっかりしていたCP14の南側の尾根を下った。ゴールにはワイルドワイフさんとトレトレウィルスwith重力まにあさんが先に到着していた。

私達はマイペースで進みCP14を発見。3人で完全完走できた事を喜びながらゴールに向かう。橋の手前で美しい夕日に遭遇。

長い様で短かった7時間半。一日の充実感を味わいながら、17時半にゴール！

3人で完走できた事が嬉しくて、これだからアドベンチャーは辞められないと思った。